

全教委連第60号
令和2年5月21日

自由民主党
「秋季入学制度検討ワーキングチーム」
座長 柴山 昌彦 様

全国都道府県教育委員会連合会
会長 藤田 裕 司

秋季入学制度に関する意見

各都道府県教育委員会では、新型コロナウイルス感染症による学校の長期休業が続く現状を踏まえ、学校や保護者等と一緒に、児童生徒の学びを保障するための取組に全力を挙げております。

そのような中、児童生徒の学びを保障するための一つの選択肢として、秋季入学制度導入の議論が開始されておりますが、学校に限らず、社会全体を含めた非常に大きな課題であるため、関係団体等から広く意見を聴取した上で議論を進め、早期に方向性を示していただく必要があることから、下記のとおり意見を申し上げます。

記

1 秋季入学制度について

- (1) 秋季入学制度については、様々な意見がある中で、子供たちの将来のために何が最もよいのか、という視点が大切である。そのため、現行制度との比較、導入時の利点や課題等について、多面的に検討する必要がある。
- (2) 様々な利点や課題について、教育分野にとどまらず、社会全体における影響等を含めた幅広い議論を経て、方向性を模索していくべきである。

2 来年度から秋季入学制度へ移行することについて

- (1) 様々な課題について具体的な検討が必要であり、現在の状況下では、各教育委員会や学校に大きな負担が生じる可能性がある。
- (2) 導入に向けては、子供や保護者の意識醸成が大事であり、また、社会全体の変革につながるものであることから、十分な議論を行い、一定の準備期間を取る必要がある。

- (3) 現在の児童生徒の学習の遅れを取り戻すことだけを目的として、来年度から秋季入学制度を導入することは好ましくないと考える。
- (4) 上記のことを踏まえつつ、方向性について早く示していただきたい。

3 秋季入学制度における課題について

秋季入学制度における課題については、広範かつ多岐に渡るため、以下に主だったものを挙げるが、その他の課題についても幅広く議論する必要があると考える。

(1) 教育委員会、学校等における課題

- ・ 発達段階に応じた指導体制構築の必要性
- ・ 学習指導計画・学校行事計画等の抜本的な見直し
- ・ 課外活動の実施時期を含めた抜本的な見直し
- ・ 児童生徒が一時的に増えることに伴う教員や教室等の体制
- ・ 卒業式、入学式等実施時期の気候に対応するための施設整備
- ・ 高校入試や大学入試等の実施時期や方法
- ・ 就職活動、公務員試験等の日程調整
- ・ 国家資格試験等の日程調整
- ・ 現会計年度との整合性
- ・ 教職員の人事制度の見直し（採用、定年、異動等）
- ・ 学校における働き方改革との整合性
- ・ 秋季への始期変更に伴う在籍児童生徒の保護者の負担増
- ・ 世界と比較した入学年齢の遅れ
- ・ 未就学児の保育、幼児教育の環境確保（施設、保育士、教諭等）

(2) 社会全体における課題

- ・ 国民の理解
- ・ 就職時期の遅れるによる影響（産業界の人材不足、納税開始時期の遅れ等）
- ・ 入試や就職時における過度な競争

全教委連第60号
令和2年5月21日

公明党「9月入学含めた子供の学びの
確保支援検討プロジェクトチーム」
座長 浮島 智子 様

全国都道府県教育委員会連合会
会長 藤田 裕 司

秋季入学制度に関する意見

各都道府県教育委員会では、新型コロナウイルス感染症による学校の長期休業が続く現状を踏まえ、学校や保護者等と一緒に、児童生徒の学びを保障するための取組に全力を挙げております。

そのような中、児童生徒の学びを保障するための一つの選択肢として、秋季入学制度導入の議論が開始されておりますが、学校に限らず、社会全体を含めた非常に大きな課題であるため、関係団体等から広く意見を聴取した上で議論を進め、早期に方向性を示していただく必要があることから、下記のとおり意見を申し上げます。

記

1 秋季入学制度について

- (1) 秋季入学制度については、様々な意見がある中で、子供たちの将来のために何が最もよいのか、という視点が大切である。そのため、現行制度との比較、導入時の利点や課題等について、多面的に検討する必要がある。
- (2) 様々な利点や課題について、教育分野にとどまらず、社会全体における影響等を含めた幅広い議論を経て、方向性を模索していくべきである。

2 来年度から秋季入学制度へ移行することについて

- (1) 様々な課題について具体的な検討が必要であり、現在の状況下では、各教育委員会や学校に大きな負担が生じる可能性がある。
- (2) 導入に向けては、子供や保護者の意識醸成が大事であり、また、社会全体の変革につながるものであることから、十分な議論を行い、一定の準備期間を取る必要がある。

- (3) 現在の児童生徒の学習の遅れを取り戻すことだけを目的として、来年度から秋季入学制度を導入することは好ましくないと考える。
- (4) 上記のことを踏まえつつ、方向性について早く示していただきたい。

3 秋季入学制度における課題について

秋季入学制度における課題については、広範かつ多岐に渡るため、以下に主だったものを挙げるが、その他の課題についても幅広く議論する必要があると考える。

(1) 教育委員会、学校等における課題

- ・ 発達の段階に応じた指導体制構築の必要性
- ・ 学習指導計画・学校行事計画等の抜本的な見直し
- ・ 課外活動の実施時期を含めた抜本的な見直し
- ・ 児童生徒が一時的に増えることに伴う教員や教室等の体制
- ・ 卒業式、入学式等実施時期の気候に対応するための施設整備
- ・ 高校入試や大学入試等の実施時期や方法
- ・ 就職活動、公務員試験等の日程調整
- ・ 国家資格試験等の日程調整
- ・ 現会計年度との整合性
- ・ 教職員の人事制度の見直し（採用、定年、異動等）
- ・ 学校における働き方改革との整合性
- ・ 秋季への始期変更に伴う在籍児童生徒の保護者の負担増
- ・ 世界と比較した入学年齢の遅れ
- ・ 未就学児の保育、幼児教育の環境確保（施設、保育士、教諭等）

(2) 社会全体における課題

- ・ 国民の理解
- ・ 就職時期の遅れるによる影響（産業界の人材不足、納税開始時期の遅れ等）
- ・ 入試や就職時における過度な競争